

研究実施のお知らせ

2018年3月20日

研究課題名

母子分離状態である褥婦に対して産褥早期から電動搾乳器の INITIATE プログラムで搾乳セッションを用いた母乳分泌促進効果の検討

研究の対象となる方

島根大学医学部附属病院で出産し、産褥0日目より NICU・GCU に入院した児を持つお母さま

研究の目的・意義

NICU・GCU に入院しているお子様を持つ母親は、母子分離状態になっているため、母乳分泌が低下することが懸念されます。本研究では、母子分離状態であるお母さまに対して、電動搾乳器シンフォニー® (medela 社) の INITIATE プログラムで搾乳セッションを産褥早期より1日1回実施する群と、INITIATE プログラムでの搾乳セッションを実施しない群とを比べ、産褥5日目の母乳分泌量に差があるのかを調査します。それにより、INITIATE プログラムでの搾乳セッションを産後早期に導入することが、母乳分泌促進に繋がるのかを明らかにしたいと思っています。

研究の方法

【搾乳セッション非実施群】

母親の年齢、合併症の有無、分娩回数、分娩方法、喫煙の有無、出産週数、搾乳の方法、搾乳回数、産褥5日目の搾乳量を診療録よりデータ収集させていただきます。

【搾乳セッション実施群】

1. NICU・GCU に入院となった赤ちゃんを持つお母さまに、毎回の搾乳量や搾乳方法、搾乳回数などを搾乳表へ記入してもらいます。また搾乳セッションについて説明し、赤ちゃんへの初回面会時から搾乳セッションを実施できるようにしていきます。
2. 搾乳セッションは1日1回、赤ちゃんへの面会時または自室で行ってもらいます。電動搾乳器シンフォニーのダブルポンプを使用して、INITIATE プログラムで約1時間程度集中的に搾乳を行っていきます。
3. 搾乳セッションは産褥4日目まで継続します。産褥4日目までに1回搾乳量20mlが3回続けば搾乳セッションは終了します。また、お母さまが退院時には搾乳表をコピーさせていただきます。

4. 搾乳セッション非実施群と同様に、母親の年齢、合併症の有無、分娩回数、分娩方法、喫煙の有無、出産週数を診療録よりデータ収集させていただきます。

研究の期間

2018年3月～2020年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院のNICU・GCUにて行います。

相談・連絡先

この研究について詳しいことをお知りになりたい方、ご自身のデータを研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は、次の担当者にご連絡ください。

島根大学医学部附属病院 NICU 吉田瑠美

〒693-8501 島根県出雲市塩治町 89-1

TEL 0853-20-2219 FAX 0853-20-2215